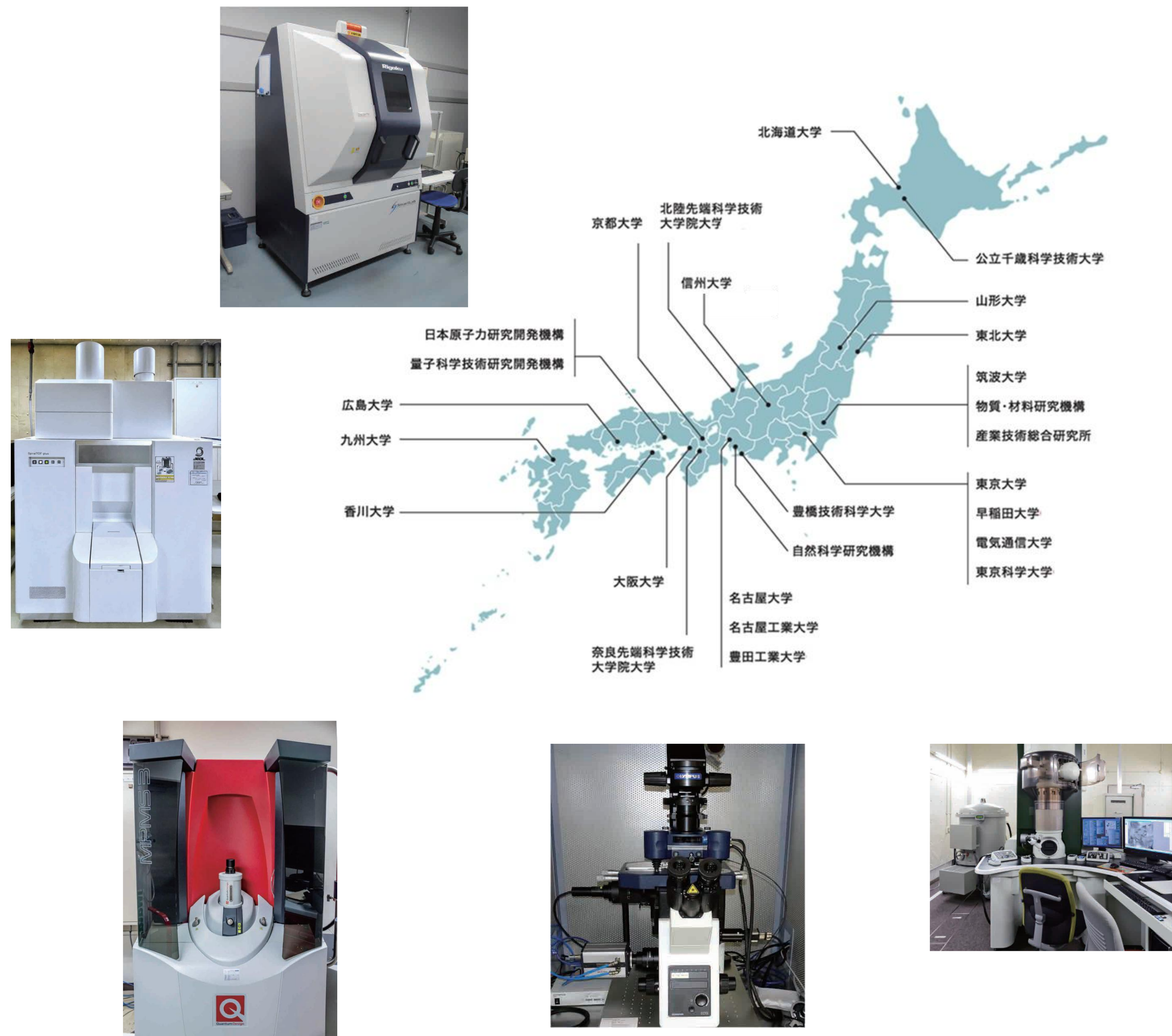


最先端設備利用と技術サポートで あなたの研究開発の課題を解決します

ARIM accelerates your R&D with cutting-edge facilities and expert support.

どこにどんな装置があるの？



半導体・MEMSの微細加工装置、表面・界面を可視化する電子顕微鏡、材料構造を解析する核磁気共鳴装置など—
—全国26機関が保有する1200台以上の先端設備を、
企業・スタートアップ・大学まで、どなたでも利用できます。



● 共用設備検索サイトより使いたい設備が探せます



フリーキーワード、設備分類、支援機関による検索
<https://nanonet.go.jp/facility.php>



どんな利用ができるの？

ARIM事業では、設備の利用に関わるサポートに加え、
技術相談、共同研究、そして設備の利用で創出される
マテリアルデータの利活用まで、様々なサポートがあります。

技術相談 | 専門技術でアドバイス

技術的な問題解決に向けて、各ハブ・
スポーク機関の技術スタッフが様々な
問題に応じます。



機器利用 | 利用者自身で操作

設備は利用者自身が操作し、実験し
ます。データの解析や考察も利用者
が行います。



技術補助 | 技術スタッフが補助

利用者は操作方法などについて、技
術スタッフの補助を受けながら設備
を使用します。



技術代行 | 利用者に代わり操作

依頼に基づきハブ・スポーク機関の技
術スタッフが実験・測定・評価・解析
を行います。



共同研究 | 利用者とハブ・スポーク 機関が共同で実施

データの解析や学術的な議論を含め
て、利用者とハブ・スポーク機関とが
共同で行います。



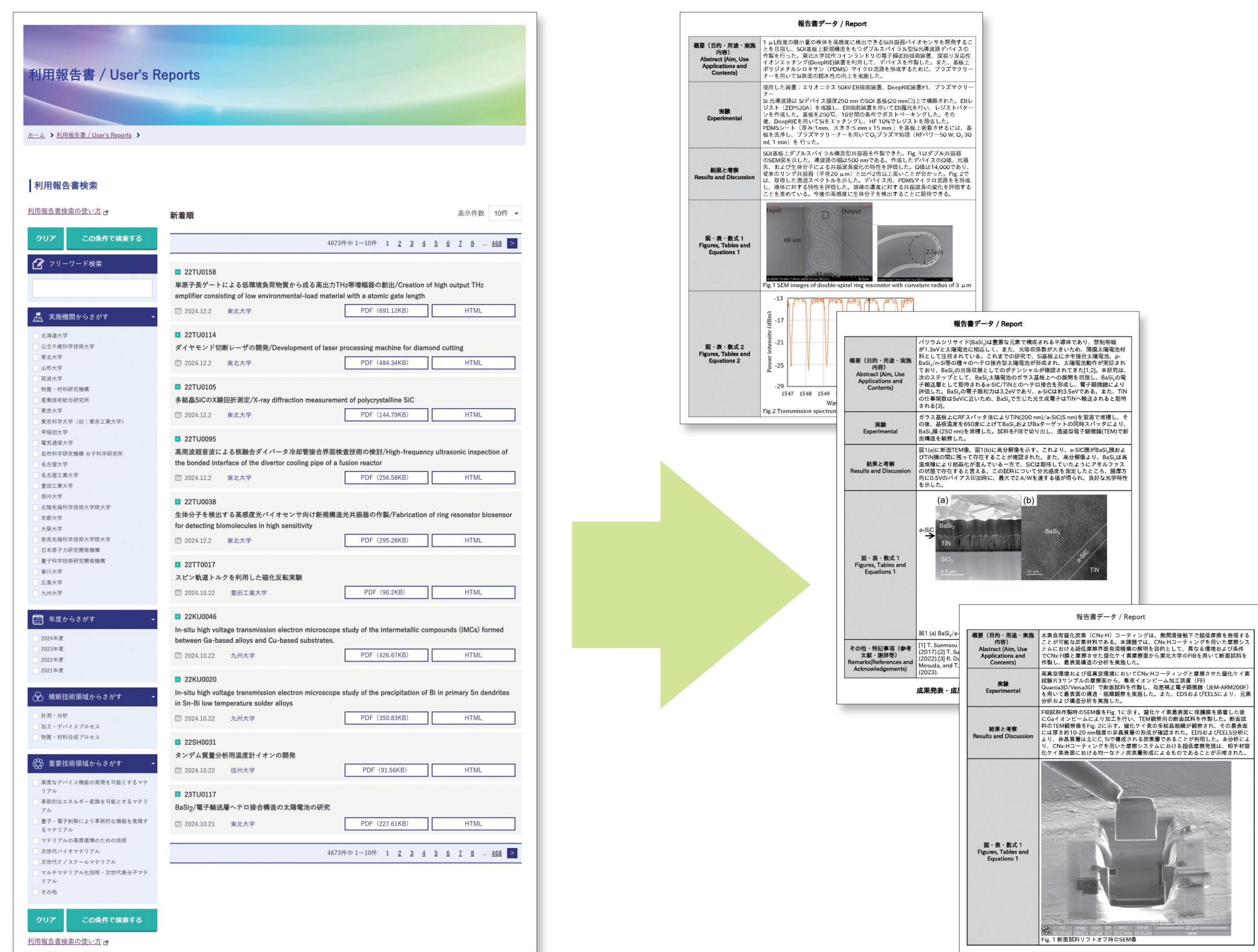
データ利用 | 蓄積したデータの利活用

蓄積したデータはデータベースとして
用いる他、新たな情報を導き出す活用
が可能です。



他の利用者はどんな使い方をしているの？

今までの7,000件以上の利用報告書をホームページで
無料公開しています。



利用手順は？

まずは”お問い合わせ”から。申請は利用する設備を保有する
機関にします。課題審査を通ると、利用装置の予約、利用に
進みます。利用料金は、ご利用に応じてお支払いいただきます。
最後に利用報告書を提出するまでが、一連の流れです。

1 | 利用相談

希望する試料が実験・測定可能かど
うか、技術スタッフにお問い合わせ
ください。



2 | 申請

申請書を各ハブ・スポーク機関の窓口
にご提出いただければ、審査の結果
をお知らせします。



3 | 予約

ご希望のスケジュールに合わせて予約
してください。



4 | 設備利用

申請内容に基づいて、設備・機器を
利用します。



5 | 利用料支払

ご利用に応じて、利用料をお支払い
いただきます。



6 | 報告

終了後、利用報告書の提出と同意いた
だいた利用者にはデータの登録をし
ていただきます。



フリーキーワード、実施機関、年度による検索

https://nanonet.go.jp/user_report.php



CONTACT

マテリアル先端リサーチインフラセンターハブ 運営室
〒305-0047 茨城県つくば市千現1-2-1
国立研究開発法人 物質・材料研究機構 技術開発・共用部門
<https://nanonet.go.jp/>

